

# 生き物にとって大切な砂浜

三重県にもウミガメが生息しているのをご存知ですか？その海や生き物たちを守るために活動されている方たちがいらっ  
しゃいます。今回は実際に6月19日に白塚海岸にて開催された海岸清掃ボランティアに参加させていただきました！



## 白塚海岸の生き物たち

まずは白塚海岸に生息する動植物からご紹介します！



ハマボウフウ



カワラナデシコ



アカウミガメ



シロチドリ



## 伊勢湾沿岸にウミガメがきています！

「ウミガメネットワーク」さんにお話を伺いました



上陸跡の写真 キヤタピラのような跡です！

伊勢湾沿岸に産卵するウミガメはアカウミガメだけです。アカウミガメは三重県で絶滅危惧Ⅱ類（VU）に選定され、環境省のレッドリストにも掲載されており、近い未来における野生での絶滅の危険性が高いとされています。2015年に三重県の子日市市から津市までの海岸では5月～7月にかけて5回のアカウミガメの上陸が確認され、そのうち3回が産卵しています。また2016年6月に津市河芸海岸、7月に御殿場海岸にて産卵が確認されました。

### ■ ウミガメを見つけた時に注意すること！

親ガメ編



- ・照明を当てない。
- ・大きな音をたてない。
- ・近づきすぎない。触らない。
- ・フラッシュ撮影しない。

携帯電話による写真撮影、動画撮影もやめましょう。液晶画面の光もウミガメは驚いてしまいます。

子ガメ編



- ・子ガメにさわらない。持ち帰らない。
- ・子ガメを踏まないように気をつける。
- ・照明を当てない。
- ・フラッシュ撮影しない。

携帯電話による写真撮影、動画撮影もやめましょう。子ガメは明るい方へ進んでいってしまいます。

非常にデリケートな生き物です。そお一つと見守ってあげましょう。

通常、親ガメの上陸産卵や子ガメの砂からの脱出は夜間に行われます。わかりやすいよう昼間に撮影したものを掲載しています。

### ■ ウミガメネットワーク代表の米川さんからのお願い

アカウミガメは身近にいる野生動物です。ですが絶滅危惧種でもあります。貴重なアカウミガメを守るために、海にゴミをださない・産卵場所である砂浜で大きな音を立てない等、みんなでアカウミガメを守っていきましょう。

※ウミガメネットワークさんのご連絡先は、三重ぐるり3ページをご覧ください。



## ■6月19日の海岸清掃ボランティアの様子



ゴミ拾いについての諸注意



海岸清掃開始!!



雨の中拾います!



こんなにありました!

## ■白塚の浜を愛する会代表の西口さんにお聞きしました

### どのような活動をされていますか?

海岸清掃をはじめ、自然観察会や海岸調査といった活動をしています。海岸清掃は、外来植物の除草と漂着ゴミ拾いです。ここ数年白塚海岸環境は草地化が進んでいます。以前は、砂だけの裸地に海浜植物がまばらに生えていましたが、最近は一面向が緑になり緑のカーペットのようになっていきます。(裸地とは、波打ち際に広がるような砂だけの場所のことです)そこで以前の環境に戻すために除草をしています。また三重県も貴重な動植物の保護のためにグラウンド跡地を砂浜に復元しました。その結果、貴重な動植物が生息する環境を維持しています。もう一つは、漂着ゴミ拾いです。ブルドーザー等の重機を入れずに、人の手で拾っています。また地元の方の協力もあり、20年以上重機を入れていません。そのおかげで、貴重な昆虫や野鳥の繁殖も続けられています。人の手で拾うから自然環境にやさしい塩梅に拾えるのです。自然観察会は、ウミガメ、シロチドリ、カワラハシヨウ、海浜植物等、他の砂浜では見ることのできなくなってしまう、貴重な生物を観察することにより、自然の大切さを実感しています。またバッタの生息調査を通して、草地の時と砂浜に復元された後の自然環境の変化を4年間調べています。親子や大人がたもを持ちバッタを追いかける姿は、昔を思い出します。調査結果は砂浜に復元したことで海浜性の昆虫が増えました。砂浜特有の環境になった事を嬉しく思います。

### 海岸清掃をはじめ良くなった点や、新たな発見はありますか?

人の出入りがあるとやはり自然は壊れてしまいます。ですが、毎月の海岸清掃や、自然を保護する活動により白塚海岸の環境は確実によくなりました。また、以前は海岸清掃ボランティアのチラシを配ったり、こちらから呼び掛けていましたが、今では市民、県民のみならず自主的にご参加いただけるようになりました。継続してボランティアをしてくださる方もたくさんいて、非常に嬉しいです。最近では、若い方も増えてきています。もっとみなさまにお気軽に参加していただきたいです。そして、海岸清掃に参加下さった方々には、地域の食材を使った、手作りお昼を海岸で作って食べてもらいます。私たちの楽しみの一つです。新たな発見は、伊勢湾に残る砂浜は、人間が海浜特有の自然環境を理解したうえで手を加えれば、絶滅危惧種

となってしまった動植物も戻ってくると、活動を通して思うようになりました。

### 西口さんの想いをお聞かせください

伊勢湾(三重県)の海岸線は151km そのほとんどがコンクリートで固められた人工海岸です。わずかに残った砂浜を人はリクリエーションや海水浴場や犬の散歩等に利用しています。必ず人間が入ってきます。そのため海浜特有の動植物は絶滅、絶滅危惧種となってしまうとされています。そのことを人間に知ってもらいたい。人間が、少し遠慮すれば、絶滅危惧種になってしまう動植物は、生きていけるのです。共存していく手段はあるはず。その為には、まず砂浜海岸の自然環境を知ることです。そして、ルールを作り守る事が重要です。海岸の利用でどうしても海水浴場等たくさんの人が出入りする海岸は仕方ありません。しかし、人の出入りが少ない砂浜は、海浜特有の動植物と共存してください。人間が、砂浜の自然環境を知り、少し我慢すれば海浜特有の動植物の絶滅を防げるのです。私たちは白塚海岸は海浜特有の動植物のために非常に重要な砂浜だと思っています。それは海岸清掃や観察会を通して確信になっています。白塚海岸で今困っていることは、ペットの散歩に来てうんちやブラッシングをした毛を捨てたり、リードをはずす飼い主さんがいることです。すべてが自然に還るわけではありませんし、ペットにとっては自然の中で走り回ることが健康的かもしれませんが、生き物たちは犬が人が通り過ぎるのをじっと息を潜めて待っています。一度作った巣を放棄する鳥や虫もいます。リードははずさず、繁殖地には近づかない等、ルールをきちんと守ることで砂浜の環境はもっと良くなると思います。まず白塚の浜を愛する会がしなければならぬことは、白塚海岸の貴重な動植物を広く知らせ、専門家を交えた保護のためのルールを作ることです。

### 伝えたいことはありますか?

現在では砂浜があることは決して当たり前なことではありません。昔のままの姿で残っていてその砂浜に生き物がいることはとても貴重なことです。そしてその貴重な砂浜は護岸工事や砂浜の浸食でどんどん無くなっています。一度砂浜に足を運んで自然の良さを感じてください。人間にとっても生き物にとってもふるさととなる大切な砂浜を守っていきましょう。